

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6年 8月27日更新

事務事業名		合志市電子ライブラリー事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	自治の健康			所属部	市長公室	課長名	佐藤 美和
	施策	1	市民参画によるまちづくりの推進			所属課	企画課	担当者名	宮崎 早香
	施策の柱	1	地域づくり(まちづくり)人材の育成			所属班	企画広報班	(内線)	1254
予算科目		会計一般	款2	項1	目11	事業連番11806	根拠法令		
終了、開始年度		☐ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 ☒ 期間限定複数年度		
								(開始年度 4 ~ 7 年度)	

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	GIGAスクール構想により、児童・生徒一人一人にタブレット端末が配備され、オンラインによる学習の機会が増加した。児童・生徒は配布されたタブレット端末で、新聞記事や写真を活かしたデジタルコンテンツを閲覧することができ、家庭での自学自習や親子での学び、また、学校での授業に活用されるものとなっている。
【業務の流れ】	児童・生徒及び教職員にアカウントを割り当て、コンテンツを配信する。 また、独自コンテンツを作成することができるので、関係課と協議の上、独自コンテンツを作成する。 配信開始は令和4年12月。独自コンテンツを含む本格配信は、令和5年4月から。 ※事業を3年間実施し、成果目標を達成しないときは事業を休・廃止すること(R4.7.22政策推進本部会議にて決定)
【主な予算費目】	委託料
【意見や要望】	市議会からタブレットの活用推進を要望されている。また、市民意識調査では、保護者より家庭学習の一助となるものの導入の要望もある。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
① 手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO) 主体的に自ら地域を学び郷土愛を醸成することを目的として、タブレット端末を所有する小中学生(小4～中3)及び教職員を対象に、新聞の記事・写真を基に作成したコンテンツの配信を行い利用促進を図った。 令和5年7月18日、西合志南中学校全校生徒を対象にコンテンツを利用した情報モラル教育講話を県警と連携して実施 令和5年9月31日、合志中学校2年生を対象に、職場体験の事前学習として広報官によるコンテンツを利用しながらキャリア教育講話を開催した。 令和6年2月9日、西合志中学校1年生を対象に、カルタ大会を実施している中で、電子ライブラリーを使ってタブレットで取組んでいるふさとカルタを体験する機会を提供した。年間アクセス数7,558回(令和4年度:5,443回)		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 電子ライブラリーの情報配信、学校等での利活用支援。	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		(単位)	予算の主な増減の理由
⇒ ア コンテンツの更新回数		件	
⇒ イ			
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)	
児童・生徒 小1～中3		⇒ ア 児童・生徒数(小1～中3)	人
		⇒ イ	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)	
コンテンツを視聴することで、家庭学習や授業での学びを豊かにする		⇒ ア 年間アクセス回数	回
		⇒ イ 子どもの地域への関心度が向上したと感じる保護者の割合(保護者アンケート)	%
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠			総トータルコスト 全体計画 ~ 7年度
市民一人一人が積極的に社会参画できる場をつくり、まちづくりに参加する。			0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	実績(決算)	4年度実績(決算)	5年度目標(当初予算)	5年度実績(決算)	6年度目標(当初予算)	7年度予定	見込	見込
投 入 費 量	事業費	国庫支出金	千円		3	12	14	12	12	
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円		3,410	5,500	5,500	5,500	5,500	
	人件費	(A) 事業費計	千円		3,410	5,500	5,500	5,500	5,500	
		(A)のうち指定経費	千円		0	0	0	0	0	
		(A)のうち時間外、特勤	千円		0	0	0	0	0	
		正規職員従事人数	人		3	4	5	4	4	
投 入 費 量	人件費	延べ業務時間	時間		250	100	400	100	100	
		(B) 人件費計	千円		951	398	1,456	398	398	
	トータルコスト(A)+(B)		千円		4,361	5,898	6,956	5,898	5,898	

事務事業名	合志市電子ライブラリー事業	所属部	市長公室	所属課	企画課
-------	---------------	-----	------	-----	-----

2 評価の部（CHECK）

*原則は5年度の後評価、ただし複数年度事業は5年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5年度目標達成度評価	☐ 達成した ☒ 達成しなかった ⇒【原因】 保護者アンケートでは50%が「子どもが電子ライブラリーを見ていない」と回答。教師・保護者の認知度が低く、日常的な利用に至っていないと思われる。
	② 6年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 学校での利活用支援を行うと、児童・生徒が興味関心を示し、コンテンツにアクセスする回数が増える。
有効性評価	③ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 利活用支援を行ったタイミングで閲覧数が増える傾向があるため、教師へのアプローチを行ない利活用支援回数を増やすことで成果が向上する余地がある。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 家庭学習を主目的とした電子コンテンツは他にないが、歴史資料館やふるさとカルタをオリジナルコンテンツとしており、生涯学習課事業との連携の可能性がある。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 3年間の事業継続予定としており、削減の余地はない。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 委託料のみとなっており、削減余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 市内小中学生を対象としており、学校タブレット端末からアクセスできるため公平である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 主体的に地域を学び、郷土愛を醸成することを目的としているため適正である。

3 評価結果の総括（CHECK）

令和5年度は、中学校で利活用支援を3回行い、子どもたちが適正な情報を得ることで、地域を学べる教材が身近にあることを習得した。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）				(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上																											
	維持																											
	低下																											
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																												